

# 國學院大學経済学部

令和6年（2024年）度開講

## 「演習Ⅱ」（ゼミ）

# 募集要項

対象：経済学部新3年生



※演習Ⅰに関するお知らせは大学HP上でも確認して下さい。

國學院大學 経済学部 教務委員会

# ① 教員が指定する学科・コース

教員により、受け入れる学科・コースが指定されています。経済学科のみのコースを指定している演習には、経営学科の学生は応募できません。また、経営学科のコースのみのみを指定している演習には、経済学科の学生は応募できません。演習に合格した際は、教員が指定(○)するコースのいずれかを選択することが条件となります(「コース指定なし」の演習を除く)。

令和6年度経済学部「演習Ⅱ」(ゼミ) 募集予定教員一覧(令和6年2月現在)

	経済学科					経営学科			指定なし
	経済理論とデータ分析コース	経済史コース	地域経済コース	日本経済コース	グローバル経済コース	ビジネスリーダーコース	ビジネスクリエイターコース	ビジネスアナリストコース	
小野正人						○	○	○	
高木康順	○			○				○	
濱田高彰	○			○				○	
林 行成	○		○					○	
細井 長					○	○			
山本健太			○	○		○			

## ② 応募手順

経済学部では3年次に専門応用科目『演習ⅡA』『演習ⅡB』（ゼミ：2科目で計4単位）が開講されます。この科目は少人数のゼミナール形式で授業を行うため、事前に担当教員の選考を受け、合格した学生のみが履修できます。

選考はリポート課題と面接（Zoom面接、ゼミによって行うゼミと行わないゼミがあります）等にて行います。受講を希望する学生は、応募方法、課題一覧（[6～7ページ](#)）を熟読のうえ、所定の期日までに応募してください。

### 1. 応募方法

本要項 [6～7ページ](#) 「④選考方法一覧」の選考方法をご確認ください。

下記必要書類の① ウェブ上で回答してください。

下記必要書類の② メールでの提出が指定の場合、当該教員へメールで提出してください。

郵送での提出が指定の場合、次の宛先まで郵送してください。

郵送先 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

國學院大學 教学事務部教務課 経済学部ゼミ担当 宛（封筒左下に「応募書類在中」と記載。

**郵送による応募締切 令和6年3月11日(月) 必着**

#### ▼必要書類

①応募方法（webアンケートフォームに回答）

・経済学部『演習Ⅱ』応募フォーム。もれなく入力してください。

③ 選考課題

・リポートには表紙をつけ、(1)経済学部『演習Ⅱ』応募リポート・志望ゼミの教員名、(2)編入生・学士入学生の場合は「出身短大名（学士の場合は出身大学名）、(3)「氏名」を明記すること。

※各ゼミの紹介や選考課題の詳細については、大学ホームページを確認して下さい。

大学トップページ>在学生・保護者>授業・履修>演習>経済学部

### 2. 合否結果について

3月下旬（予定）にお知らせします。

### 3. 応募上の注意

①経済学部『演習ⅡA』『演習ⅡB』（ゼミ：2科目で計4単位）は3年次開講の選択科目です（必修科目ではありません）。但し、少人数のゼミナール形式のため、履修できるのは選考の合格者のみです。

②複数の教員を併願することは出来ません（両方とも無効となります）。必ず志望する教員を1人だけ選んで応募してください。

③合格後の辞退はできず、3年次の履修に際しては合格したゼミが自動的に履修登録され、取り消しはできません。

④『演習ⅡA』『演習ⅡB』の単位修得者のみ、4年次に同一教員の「演習Ⅲ（卒業論文）A」「演習Ⅲ（卒業論文）B」を継続して履修することができます。詳しくは、開講パターンで確認のこと。

**お問い合わせ先**

**國學院大學教学事務部教務課**

**TEL 03-5466-0135**

## ③ ゼミナールに入ろう

経済学部 教務部委員

大西 祥恵

この募集要項では各ゼミの活動内容や特徴を紹介します。きっと皆さんが学びたい分野のゼミが見つかると思います。みなさんがこの要項を熟読のうえ、自分に最もマッチしたゼミについてよく研究し、ひとりでも多くの学生が応募・合格してくれることを期待しています。

### (1) ゼミとは？

ゼミナール（ゼミ）は大学で専門的に学んでいく上で、また自分にあった学修を行う上で、講義とは異なる少人数かつ双方向の教育が受けられる演習形式の授業であり、重要かつ貴重な学びの機会です。また、学生同士だけでなく学生と教員がコミュニケーションを取りながら一緒につくり上げる最も大学らしい場所です。私たちはひとりでも多くの学生に自分に相応しいゼミに入り、ゼミの仲間や教員と大いに議論・討論してほしいと切に願います。自分の意見や考えを発表したり、多様な意見や価値観を聴いたり討論することはみなさんの学びをより深いものとし、就職活動（面接だけでなく集団討論のときも）やその後の職業生活にも大いに役立つことでしょう。みなさんが積極的かつ意欲的にゼミに応募することを期待しています。

後述するように、ゼミの開講パターンや開講時期、学生数や活動内容は様々ですが、一般的にゼミの特徴は次のように説明できます。

- ① 講義形式ではなく、**学生と教員が話し合いながら一緒になって内容をつくりあげる少人数の演習系科目（専門応用科目）**です。ゼミによって一学年の人数がまちまちですし、他学年と合同で実施するゼミと学年ごと実施するゼミがあります。
- ② ゼミの内容は各ゼミによって異なりますが、主な内容としては、**(1)**テキストを決めレジュメを作成して分担報告しながら精読する輪読、**(2)**学外のビジネスコンテストなど各種コンテストへの参加・発表、**(3)**テーマを決め、個人あるいはグループで研究する論文作成、**(4)**グループディスカッションやプレゼンテーション、**(5)**ディベート大会、**(6)**サマーセッションやスプリングセッションの合宿、**(7)**ゼミ成果発表会や合同ゼミなど学部ゼミ間の交流、**(8)**新歓・暑気払い・忘年会などのコンパ、**(9)**工場見学や企業見学、**(10)**OB・OG会などがあります。ゼミによって多彩ですので興味のあるゼミの活動をよく調べてください。
- ③ 講義科目とは異なって、ゼミでは学生同士および学生と教員の間での双方向のコミュニケーションが広く深く行われます。
- ④ ゼミに入るためには、ゼミ毎に行われる選考で合格しなければなりません。合格すれば「演習ⅡA」からゼミに所属することになります。ただし、**一度希望するゼミに合格したら、合格を辞退したり、別のゼミに応募し直したり、ゼミを変更することはできません。**

### (2) 開講形態

ゼミは2年後期からはじまっています。原則、すべてのゼミが卒業までに、以下に挙げる5つの科目が開講されます。皆さんは②「演習ⅡA」から加入することになります。

- ①「演習Ⅰ」(2年後期)
- ②「演習ⅡA」(3年次前期)
- ③「演習ⅡB」(3年次後期)
- ④「演習Ⅲ(卒業論文)A」(4年次前期)
- ⑤「演習Ⅲ(卒業論文)B」(4年次後期)

卒業要件に含まれる単位数は、全てのゼミ「8単位」となります(これ以上の単位は卒業要件の単位には含まれません)。

また、すべてのゼミで「卒業論文が必修」です。

ゼミによって、上記の科目とセットで開講されるサマーセミナー、スプリングセミナーがあります。サマーセッション、スプリングセッションの開催有無については、それぞれのゼミの紹介ページの冒頭部分に明記されています。

なお、上記科目は自動登録されます。学生の都合で登録を取り消すことはできず、合宿に参加しなかったり、ゼミ論文を提出しなかったりした場合はDまたはRの評価となります。

通常	演習Ⅰ	演習ⅡA	演習ⅡB	演習Ⅲ (卒業論文)A	演習Ⅲ (卒業論文)B
開講時期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
単位	2	2	2	2	2

### (3) ゼミの選び方

ゼミによって活動内容や開講形態は様々ですから、ゼミの課題や学習内容、ゼミ(先生)とのかわり方、つきあい方も変わってきます。各ゼミの内容や特徴をよく理解し、自分にあったゼミを選ぶことが大切です。その際、次の点を考慮しましょう。

- ① 自分の勉強したい「テーマ/分野(興味・関心)」に合致しているか考えましょう。ゼミのテーマ、教員の専攻/研究分野が自分にあっているかどうかは最も大切なことです。
- ② ゼミの活動内容をできる限り詳しく知って選びましょう。
- ③ 前述したように、サマーセッション、スプリングセッションを行うゼミやないゼミ、開講形態にも十分に考慮してください。

- ④ 担当教員とのコミュニケーションは、大学で学ぶ上でも学生生活や将来を考える上でも、みなさんにとって貴重な機会となるでしょう。2年の間、一緒に勉強する教員についてもできる限り情報を集め、ゼミ選考の参考にしましょう。教員については、國學院大學 HP の経済学部のサイトにある「専任教員の紹介」でも知ることができます。

#### (4) 応募にあたっての注意

- ① **各ゼミで受け入れる学科・コースが指定**されています。多くのゼミが経済学科、経営学科どちらの学生も受け入れが可能となっていますが、経済学科の学生のみ、経営学科の学生のみという演習も少数ですがありますので注意してください(1ページを確認してください)。
- ② 演習に合格したら、その**演習(教員)が指定するコースを必ず選ばなくてはなりません。**
- ③ 各ゼミで「修得済み科目」、「履修しておくことが望ましい科目」が記載されていますが、こちらは編入生の皆さんは該当しません。
- ④ ゼミの選抜に合格した後で、合格を辞退することはできません。
- ⑤ 合格した時点で「演習ⅡA」(サマーセミナー、スプリングセミナーを開講するゼミについてはそれらの科目も含む)が**自動的に履修登録**されます。ゼミの合格を放棄してもこの時間には他の科目を履修することができません。

#### 【一括登録の注意点】

ゼミは合格すると「演習ⅡA以降の全ての演習科目が開講パターンに応じて一括登録(サマーセミナー、スプリングセミナーも含む)されます。「演習ⅡA」の単位を修得し、「演習ⅡB」以降の履修を取り消そうとしても今回の合格時に全ての演習科目が登録済みです。履修修正でも取り消せません。年次履修上限の42単位に含まれます。そのため、「演習ⅡB」の時間帯に他の科目を履修することもできません。なお、成績評価で不合格(DまたはR)である場合、以降については、以降の科目の自動登録が消去されます。

#### (5) 問い合わせ先

不明な点や質問等があれば、経済学部教務委員会 (keizaigakubu.kyoyumu [at] gmail.com) まで連絡して下さい (【at】は@に代えてください)

⑤ 選考方法一覧

教員名	ズーム 面接	募集人数	提出課題詳細	提出方法
小野 正人	なし	若干名	<p>応募時に、以下のすべての書類を添付して提出してください。</p> <p>①自己紹介（200 字以内、ワード形式）</p> <p>②ゼミを希望する理由（400 字以内、ワード形式）</p> <p>③簿記検定（2 級以上）の合格証書コピー、これまで、もしくは編入前の学校の成績書類のコピー。③はスマホで撮影した写真ファイルの提出で可。</p>	<p>教員へメール masaono@kokugakuin.ac.jp</p> <p>応募期間：3/4～3/10</p>
高木 康順	なし	若干名	<p>次の A、B 両方を Word A4 1 枚程度にまとめてメールに添付して提出すること。</p> <p>A 志望動機</p> <p>B 「日本の経済」「経済経営数学入門」「統計入門」「経済理論入門」それぞれについて、以下の 3 点を簡潔にまとめなさい。</p> <p>1. 成績(未履修の場合「X」と記入)</p> <p>2. 面白かった点(未履修の場合何も記入しない)</p> <p>3. 難しかった点(未履修の場合何も記入しない)</p>	<p>教員へメール takagi@kokugakuin.ac.jp</p> <p>応募期間：3/4～3/10</p>
濱田 高彰	なし	若干名	<p>以下の 2 点をメール添付にて提出してください。</p> <p>(1) ①～④についてまとめた PDF ファイル</p> <p>① 簡単な自己紹介…200 字程度</p> <p>② これまでの大学生活で力を入れてきたこと…400 字程度</p> <p>③ これまでで最も興味深かった大学の授業…400 字程度</p> <p>④ ゲーム理論または行動経済学を用いて分析してみたい身近な現象または社会現象について（その現象がゲーム理論や行動経済学の分析対象であると考えられる理由についても説明をすること）…1000 字程度</p> <p>(2) 最新の成績表（PDF または JPEG などの画像データ）</p>	<p>メール宛先 keizaigakubu.kyoumu@gmail.com</p> <p>（いただいたメールは、経済学部教務委員会から、濱田先生に転送されます）</p> <p>応募期間：3/4～3/10</p>
林 行成	あり	若干名	<p>(1) 自己紹介（200 字以内）</p> <p>(2) ゼミを希望する理由（400 字以内）</p> <p>(3) ゼミで何を取り組み、どのように成長したいと思っているのか。また、将来に対する現時点での展望について、自由に記述してください。</p>	<p>メール宛先 keizaigakubu.kyoumu@gmail.com</p> <p>（いただいたメールは、経済学部教務委員会から、林先生</p>

				(に転送されます) 応募期間：3/4～3/10
細井長	なし	若干名	<p>以下2つのファイルをメールで送ってください。この他、英語の資格を持っている場合はスコア表を添付してください(推奨)。</p> <p>(1)3月上旬に発表された成績表(Kスマの画面をPDF化。1年次から、落ちた科目も含めて印刷。世界経済入門でR評価を取っていないことが最低条件となります。)</p> <p>(2)現在2年生が取り組んだ本は Buckley et al.(2022)International Business 2nd edition, Oxford.(ISBN:978-0-19-886189-8)です。後期に全19章を終えました。この本の1～19章まで、各章を45分で報告する配布用レジュメを19章分作成せよ。(19個のWordまたはPDFファイルをひとつの圧縮ファイルにまとめて送信すること。なお、この本は3・4年になっても使用します。)</p>	<p>教員へメール hosonaga@kokugakuin.ac.jp 応募期間：3/4～3/10</p>
山本健太	なし	若干名	<p>① 実家のある地域の名物や有名な祭りなどを1つ取り上げ、それがなぜその地域で起こり、発展してきたのか、地域の気象条件や歴史的過程など、関連する様々な観点を交えて理由を説明せよ(2000字程度)。引用文献がある場合には出典を付すこと。</p> <p>② 自己紹介(1000字程度)</p>	<p>郵送受付：3/4～3/11 必着</p>

※1 教員により提出方法が違うので、よく確認する事。締切日以降の到着分は、一切受理しません。

※2 書式について記述がない場合は、任意(自由)です。

※3 課題には必ず表紙をつけること(氏名・希望教員名・タイトル・出身短大名・大学名等を明記のこと)

郵送先：

〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28 國學院大學教学事務部教務課 経済学部ゼミ担当

郵送締め切り：3月4日(月)～11日(月) 必着

⑥ 教員の連絡先一覧

教員名	メールアドレス	備考
小野 正人	masaono__at__kokugakuin.ac.jp	
高木 康順	takagi__at__kokugakuin.ac.jp	
濱田 高彰	経済学部教務委員会 (keizaigakubu.kyouumu__at__gmail.com)	<u>いただいたメールは、経済学部教務委員会から、濱田先生に転送されます。</u>
林 行成	経済学部教務委員会 (keizaigakubu.kyouumu__at__gmail.com)	<u>いただいたメールは、経済学部教務委員会から、林先生に転送されます。</u>
細井 長	hosonaga__at__kokugakuin.ac.jp	
山本 健太	kenta__at__kokugakuin.ac.jp	

※\_\_at\_\_は「@」に置き換えてください。※教員にメールを送る際は、大学の@kokugakuin.ac.jpのメールアドレスから送るか、またはメールの件名を明確に記載してください。

## ⑥ 募集ゼミ内容紹介

先生方にゼミのご紹介をしていただくにあたって、以下の質問項目について伺いました。

(※該当する項目のみ、回答していただいております。)

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	

- (1) テーマ
- (2) キーワード
- (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)
- (4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細 (枚数や時期など)
- (5) 先輩たちの主な就職先と傾向
- (6) 教員について(自己紹介等)
- (7) その他

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定：なし

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会社入門	企業財務の基礎
コンピュータと情報 I	基礎演習 B	簿記と財務報告 A	※2年後期に履修指定あり

3年(男)	13人	3年(女)	6人	4年(男)	11人	4年(女)	9人
-------	-----	-------	----	-------	-----	-------	----

### (1) テーマ

#### 『企業研究』

**大企業、中小企業、ベンチャービジネス、外国企業、非営利組織を対象に、ケーススタディの手法を用いて企業研究に取り組む。企業の実情と課題に向き合う実践的なゼミです。**

1. 目的：個々の企業を分担して研究し、発表・議論することによって、実社会において役立つ力を養っていく。担当教員の専門分野はベンチャービジネスとアントレプレナーシップであるが、ベンチャーや事業創造を視野に置きつつも、スタートアップから巨大企業まで幅広い組織を対象に考察していく。
2. 内容：①会社が公開する諸資料の収集方法、分析方法の学習、②発表・プレゼンテーションのトレーニング、③グループワーク、④実社会に向けた学習活動（キャリア設計、創造性・主体性、就職活動準備）、⑤外部講師を招聘した企業研究・討議、を行う。

### (2) キーワード

企業を見る目、創造、イノベーション ⇒ 変化に対応でき、柔軟性を持ち、問題を解決できる人間になる

1. 「企業を見る目」：社会人になればさまざまな会社と付き合う機会が訪れる。会社をどのような物差しでどのように評価すればよいかを体得してほしい。
2. 「創造」：ゼミの目標は自分で未来を拓く力をつけること。知識を増やし、論理的に考え、他人に説明できるように努め、同時に自分がどうやって生きていこうかを考えてほしい。
3. 「イノベーション」：ゼミでは、世界で起きている革新的な変化を理解しうまく活用できるように修養することを考えていく。21世紀は開発や進化を一つの会社や自分の周りだけで行うのではなく、世界の多様な人々と組んで取り組むオープン・イノベーションの時代であり、そのような環境に生き残って活躍できる人材を目指す。

### (3) ゼミの進め方と求める人材

- ・2年次は、「経営分析」の授業をもとにゼミ生が講義を行う反転授業形式で行う。また授業に関連したケース演習で経営分析の力を高めていく。3年次は、各グループに課せられた企業研究(グループワーク)と有価証券報告書/アニュアルレポートの解説を行い、グループごとに企業研究の成果を発表しゼミ内で議論していく。4年次は、各自が関心のある会社・業種・テーマを選択して個人別に企業研究を行い、その成果をもとに卒業論文を作成していく。
- ・企業評価の基本的な知識を修得するために、年1～2冊の専門文献を輪読していく。文献の例：伊藤邦雄『新・企業価値評価』、蛭原健『テクノロジー思考』、Clayton Christensen “How will you measure your line?”、大津広一「経営指標大全」、アナリストレポート(キヤノン、サイバーエージェント、ペイロール)。

・様々な職業の選択肢と変化に柔軟に適應できる人材育成を目指しています。学外の専門家/実務家のゼミ招聘講演、他大学とのインターゼミを行う予定です。初対面・専門外の異なる世代の人々と交流する機会があるので、ゼミ生は主体的に質問や議論をすることが必須となっています。これらに取り組む熱意のある人がゼミ入室の条件であり、幹事や役割を引き受けられないような消極的な学生は応募をお断りします。

・ビジネスの知識・関心・探求・アナリシスの技能を高めていく実務重視のゼミですが、高度な命題を探求していく学術性・専門性を経験する機会は少ないことに留意してください。

・このゼミは「経営分析」を2年後期に履修することが条件です。また経営学科3コースを指定しているので、経済学科の学生は応募できません。ゼミ選考の倍率は例年1.3~1.8倍程度です。

#### (4) 卒業論文

・皆で力を合わせて脱落者を出さずことなく良い卒論を提出することを目標にしています。2年後期から分析手法と文献資料収集の知識を習得していき、卒業論文への意識を高めていきます。3年後期の段階から卒論のテーマを定めてプロジェクトファイルの蓄積をもとに前倒しに作業を行い、4年後期に卒業論文を完成させます。今年度4年生の卒論テーマは以下の通りですが、学生の関心や問題意識に応えられるように卒論の領域を広げています。

テイクアンドギヴ・ニーズ	ポニーキャニオン	クボタ
サントリーホールディングス	Netflix, Inc.	フジ・メディア・ホールディングス
大創産業 (DAISO)	神戸物産 (業務スーパー)	NECレノボ・ジャパングループ
ENEOSホールディングス	味の素	ソニーグループ
日本ハム	テレビ朝日ホールディングス	寿スピリッツとスイーツギフト業界
自動車業界におけるHONDA	ゲーム業界における任天堂	芙蓉総合リース
モスフードサービス	メガベンチャー企業 (DeNA)	

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

・全員が企業に就職していますが、ベンチャーに入る学生もいれば中央銀行に入る人もおり、IT・通信、教育、不動産、金融、建設など分野は多岐にわたっています。ただし、私自身大企業や国家公務員を経験してきましたが、それらの職場は構造問題をかかえており決して安泰とは思いません。雇用が大きく変わる時代に、既成概念にとらわれずに進むべき分野を自分で考え動くことが重要と思います。またベンチャーや起業を真剣に考えている人は歓迎します。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

・1958年高知県生まれ。四国の山中で育ち、中高は陸上競技部、大学はボート部で、元々は体育会系。

・東京大学経済学部卒業。國學院大學経済学研究科博士後期課程退学。日本製鉄/内閣府/日本生命保険/日本ベンチャーキャピタル/スタンフォード大学/慶應SFCを経て城西大学経営学部教授。2020年國學院大學に着任。大学卒業後、メーカー勤務にはじまり、中央官庁/金融機関/シンクタンク/海外留学/ベンチャーキャピタル/大学教員と、さまざまな職場を歩いた実務家教員です。

・担当講義：ベンチャービジネス、経営分析、ビジネスインターンシップなど(2023年度は国内派遣中)。

・良くも悪くも物わかりが良くさばさばした性格で、判断は早いがあきらめも早い。フルマラソン12回出走、富士登山競争3度出走。現在は山歩きと料理が趣味で、富士山12回、高尾山280回登頂。歳をとっても健全な精神と身体を維持すること、新しい取り組みにチャレンジすること、年齢より十歳若く見られることが目標です。

## 高木 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門	経済経営数学入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	統計入門	

3年(男)	2人	3年(女)	1人	4年(男)	7人	4年(女)	4人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

### (1) テーマ

日本とアメリカのデータを使ってマクロ経済学の基礎理論がどこまで有効か確認する

### (2) キーワード

マクロ経済学 パソコン 統計分析

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

#### 2年生

教科書：N・クレゴリー・マンキュー：『マンキュー入門経済学』、東洋経済新報社

ノートパソコンを全員に所有してもらいます。特に研究室では複数のゼミ員が同時にノートパソコンで作業することがあります。その作業結果をネットワーク上で共有し、修正作業を継続する必要があるため、合格後、ノートパソコンを新たに購入する場合選定相談を受けます。また、希望者にはノートパソコン利用法と基本ソフトウェア、ネットワーク環境設定を研究室で確認します。

夏休み中に数学準備として「経済経営数学入門」の講義ノート No. 1～10 を復習してもらいます。

後期開始後は、経済理論の入門教科書の内容を、報告者がスライドと口頭報告用の原稿を用意して報告します。スライドには、教科書で利用されている図表を、見た目をお絵かきで再現するのではなく、理論的な説明に沿って数式化し、表計算ソフトを用いたグラフや表で再現します。章末の問題は報告時間の余りの範囲で報告者以外に解いてもらいます。

演習1以外に、3年次の理論分析の準備のために「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」を履修する必要がありますが、「統計入門」が前提科目であり、まだ履修していない人は「統計入門」を先ず履修する必要があります。「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」は卒業までに必ず履修してください。

#### 3年生

教科書(予定)：R・J・ゴードン：『現代マクロエコノミクス』原著第6版上下：多賀出版

中級のマクロ経済学理論の教科書の内容を、ある章の分析と次の章の報告を平行しておこないます。

「分析」は報告された章に掲載されている、アメリカ経済の1980年代までのデータを使ったグラフ

を、最新の日米のデータを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論的な説明がどこまで当てはまるか確認するものです。

データを用いた検証はグラフの再現を超えてどこまでできるか、ゼミ生単独では範囲を設定できない場合が多く、前の週に報告された教科書の理論をどのような手法を組み合わせるかを細かく指導します。内容報告は2年次に習得した報告手順により実施します。

演習2以外では「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」で取り残しているものの単位を取得してください。

#### 4年生

毎週担当者を1名決めて3年生の分析内容を批判・評価します。批判・評価は単なる文言の修正でなく、「データ分析Ⅰ」の知識を用いて新旧グラフの比較を超えた分析の可能性を指摘します。残りの4年生は当日までに担当者に章末問題を絡めたポイントを提示し、問題意識を共有します。3年次のテキストが終わっていない場合は続きを行う場合があります。

卒業論文は、3年時の演習で行った分析の中から各自でテーマを設定します。テキストの記述から、対象範囲を拡げたり、理論をより精緻化したりして掘り下げ、「データ分析Ⅰ」の手法を用いて結論を導くことを重視します。独自のアイデアや論考がなくとも、学んだ手法が駆使されていれば高く評価します。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・商社など一般的な事務系職種に就職していますが、IT系への就職も目立ちます。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

日本経済全体の消費行動の理論構築と計量経済分析が研究テーマです。経済状況の変化に影響を受けて生じる、耐久消費財支出時期の理論的最適からの遅れをモデル化・検証しています。

性格は大まかで、論文に求められる緻密さは数学に依存しています。理論モデルを飽きずに延々とひねくり回したり、結果が中々出ないデータ分析をしつこく続けたりするのは大好きですが、ゼミ生の指導で細かいミスをほじくり返したり怒り続けたりする根気はありません。

#### (7) こんな学生に来てほしい

ミクロ・マクロ経済理論、モデル構築に必要な数学、データ分析の手法と学ばなければならない範囲は広いですが、理論の基礎から学び直すので、改めてゼミからスタートしたい人でも大丈夫です。が、ゼミの準備に時間をかけないと達成水準は低くなるので、学ぶ意欲はしっかりと持って来てください。

単位の有無にかかわらず経済経営数学入門水準の数学と、統計入門水準のExcel操作能力は必要です。

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経済経営数学入門

## (1) テーマ

このゼミでは、ゲーム理論や行動経済学を用いて、独自の理論モデルの作成や模擬実験による分析を行います。ゲーム理論は、「人々による駆け引き」を記述する理論であり、行動経済学は、ヒトのいわゆる「非合理性」（認知の歪みや近視眼性など）や「他者に配慮する性質」（利他的行動など）について探求する学問です。これらの理論は、ごく身近な出来事（日常の意思決定や友人・家族・恋人との関係）から企業間や国家間の出来事まで、非常に広範囲にわたる人間行動や社会現象を分析対象としています。それゆえ、ゼミ生は豊富な選択肢の中から関心のあるテーマを設定することができ、自由に分析を進めることができます（真面目なネタもよし、キャッチーなネタもよしです！）。独自のモデル分析などを通して、身の回りや社会に起こる現象の背後にある仕組みを、自分の頭で考え、捉えられるよう訓練をしていきます。

またこのゼミでは、グループでのタスク遂行やゼミ生同士のコミュニケーションを重要視するほか、発表資料やプレゼンの方法などについても適宜フィードバック・ふりかえりを行います。これらを通して、社会人基礎力も養成していきます。

## (2) キーワード

ゲーム理論、行動経済学、理論分析、実験デザイン、模擬実験、統計分析

## (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

## 【2・3年次】

普段のゼミは、以下の流れで実施します（以下の内容を3回の授業に分けて実施します）：

- (i) 教科書の指定部分を参考に、まずは各自でテーマを設定した上で独自のモデルや実験デザインを作成し、グループ内で発表し合う
- (ii) 各自の発表をもとに、グループで1つの成果物を作成する
- (iii) グループの成果をゼミ全体で発表する

3回分の授業を用いて1つのプロジェクトを行い、半期で合計4つのプロジェクトを実施します。ま

た学期末には、これまで作成した成果物の中から1つを選択し、グループで更なる改良を加えた上で、最終レポートを作成します。

#### 【4年次】

卒業研究に取り組みます。2・3年次に身につけたスキルを活かして、理論分析や模擬実験による分析を行ってもらいます。基本的には個人ワークですが、定期的にゼミ生同士で進捗を報告し合い、各自の研究についてみんなで議論を行います。

#### 【研究発表大会、その他の活動（合宿やイベントなど）】

学内外の研究発表大会等に参加する可能性があります。またその他の活動（合宿やイベント等）については、ゼミ生の希望に応じて実施します（この点については、慣例を作るつもりはありません）。有意義なゼミとなるよう、各年代で主体的に考え、独自の文化を作っていたらと思います。

#### (4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

【2・3年次】上述の通り、各学期末にグループによる最終レポートを提出してもらいます。

【4年次】前期末に卒業論文のテーマおよび簡単な分析結果を提出してもらいます。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

着任1年目であるため、実績はありません。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

「ゲーム理論」や「行動経済学」に関する理論・実験研究を行っており、主に「社会的選好」と呼ばれる「ヒトの他者を考慮する様々な性質」と、それに関連した戦略的状況に関心を持っています。最近では、「顕示的消費」や「望ましいチーム構成」について理論的な分析を行っています。

出身は兵庫県で、小中高はサッカーをしていました。大学時代は経済学の勉強を頑張りつつ、学習塾でのアルバイトや小学校の野外活動の補助員などもしていました（昔から教育に関心を持っていたように思います）。趣味は歌うこと、YouTube鑑賞（ダラダラと…）、フットサル、お笑い全般です。

#### (7) その他

ゼミでは、まずは楽しんで活動してもらいたいです。楽しければ意欲も湧いてくるでしょうし、学びも多くなるでしょう。この意味で、「グループメンバーとうまく交流すること」、そして分析の「テーマ選択」が重要だと考えています。ゼミが楽しくなるようなイベント等も、ぜひゼミ生同士で色々企画してください。

また、1つのテーマをとことん極めるという経験をしてもらいたいです。もちろん各プロジェクトにおいて時間は限られますが、完成した（と思っている）成果物に対して、「何か欠点はないか（どんな批判が来そうか）」「もう1つ2つ追加で面白い分析ができないか」など、とことんメンバー同士で議論してみてください。ゼミで「考え抜いた」経験が、今後の皆さんの糧となることを期待しています。

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A		
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B		

## (1) テーマ

当ゼミのテーマは、「医療から日本の経済社会を考える」です。

日本の国民医療費は現在約 45 兆円。この金額だけみても、医療産業は GDP の約 8% を占める巨大産業です。そして、高齢化が加速するこれからの時代、医療はまさに日本の重要な成長産業と言えます。しかし、医療は持続可能性に大きな問題を抱えています。このゼミでは、医療の問題を経済学的な分析を通して、みんなで検討していきたいと思います。

ただし、その前提として経済分析のスキルがどうしても必要です。ゼミを通して、経済分析の基礎（理論と実証）を修得し、論理的な思考技術を高めながら、医療を中心軸に日本のこれからの社会のあり方を、広い視野と精緻な分析を通して検討していきます。

## (2) キーワード

医療経済学、社会保障論、ミクロ経済学、ゲーム理論、産業組織論

## (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

### 【2年次】

ミクロ経済学やゲーム理論などに関わる入門書を輪読し、基礎的な経済分析のスキルを身に付けていきます。数学的なハードルがある場合には、適宜数学のテキストなどを用いて、数学的分析能力も高めていきます。

輪読では、毎回担当者にプレゼンテーションをしてもらい、議論しながら、メンバー全員で理解を定着させていきます。輪読するテキストについては、メンバーの希望も踏まえて決定します。

### 【3年次】

医療経済学に関する専門書を輪読し、医療問題や医療制度の理解を深めつつ、経済分析を通して問題の本質を踏まえた解決方法について議論していきます。テキストを読みながら、その都度分析手法に関する理解も深めていき、本質的に問題をつかみ分析できる力を修得することを目指します。

また、各自で興味のある問題に対して、プレゼンテーションやディスカッションも行いたいと思い

ます。前任校では、ビジコンへの参加、企業や病院の調査、学会への参加なども行いました。座学だけでなく、リアルの現場を見て感じて理解するような場も設けたいと思います。

#### 【4年次】

卒業論文の作成に取り組んでもらいます。テーマは経済分析の対象となるようなものであれば何でも自由に選んでもらって構いません。適宜、研究内容をプレゼンしてもらい、メンバー全員で意見交換を進めながら、卒業論文を作成してもらいます。

#### (4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

現段階では具体的に考えていませんが、ゼミで扱う何かしらのテーマをもとに、レポート作成とプレゼンテーションをしてもらおうと思います。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

前任では、医療関係の学科ということもあって、医療分野での就職先が多かったです。例えば、国立病院機構、日本赤十字社といった大規模病院の経営スタッフや、アストラゼネカ、ベーリンガー・インゲルハイム、ブリストルマイヤーズ・スクイブなど大手製薬企業、デロイトトーマツといった大手コンサル企業に就職し活躍していたりしています。数名は起業をしていて、医療系M&Aコンサル企業や、旅館M&A企業などを経営しているような卒業生もいます。

就職先は皆さんが決めるもので、私自身は医療分野に就職して欲しいということはありません。医療関係に興味がある人も、そうでない人も、皆さんが自分の将来をしっかりと考え、幸福になれる進路を選べるようサポートしたいと思います。

なお、私自身が公務員試験を経験しているので、公務員指導には対応できると思います。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

専門は、医療経済学、産業組織論です。医療制度・政策、医薬品産業、病院経営を経済学的に分析するような研究活動をしています。

栃木で生まれ、鹿児島で育ち、大学を東京で過ごしました。大学卒業後に国家公務員Ⅰ種試験（経済職）に最終合格しましたが、学者になりたく、大学院に進学。大学院時代には大手公務員試験予備校で講師をしていました。大学教員として広島国際大学に赴任し、20年の広島での生活を経て、2024年4月に國學院大学に赴任しました。

#### (7) その他

私のゼミに対する考えを、偉人たちの言葉を借りて示しておきます。

#### 1. 「すぐに役に立つものは、すぐに役に立たなくなる」小泉信三

人間は易きに流れやすく、目先の利益を追いがちです。しかし、長期的な視点で考え行動できることが、人生や企業の成功のための大きな要因の1つだと思います。このゼミでは、こうした長期的な視点から論理的かつ戦略的に考えるチカラを、ゼミ活動を通して育成できればと思っています。

#### 2. 「God is in the details. 神は細部に宿る」ミース・ファン・デル・ローエ

何事も細部に神は宿ります。人間も、ごまかすことなく、人の見ていない細かいところにこそ、手を抜かずに取り組むことが大事です。ゼミでも、細かいところに手を抜かないという心構えを持ち、常に前向きに向上心を持って努力し続けられる人を歓迎します。

### 3. 「道德なき経済は犯罪であり、経済なき道德は寢言である」二宮尊徳

道德心と経済学的な思考技術は、経済に生きる我々にとって、どちらも欠かせない要素です。このゼミでも、論理的で分析的な議論をしながらも、高い道德心と社会貢献意欲を持って、社会や自らを考え成長できる場にしていきたいと思っています。

## 細井 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3年男	1人	3年女	2人	4年男	2人	4年女	1人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

「グローバル・エコノミーとビジネス—新興国市場攻略の戦略」

国際経済と国際経営の分野で各自が関心をもっているテーマを個人で深めていくことがこのゼミのスタイルです。現 3・4 年生はヨーロッパ経済、アフリカ貧困問題、サービス産業海外展開、移民、自動車産業といった関心領域を各自もっています。

### (2) キーワード

国際経済 途上国経済 国際経営

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2 年後期は統一テキスト(英語文献)を用いて、3 年以降に備え基礎知識の定着、読書習慣の確立、文献の探し方などアカデミック・スキルの涵養を図ります

2 年と 3 年の間の春休み(3 月下旬)に春合宿を行い、3 年以降のゼミ活動の基礎を作ります(スプセの形ではない)。3 年以降のゼミについては学年合同 2 時間連続となり、自分たちで進め方を決めて

もらい、個人のテーマも自分で設定することになります。ゆえに「与えられた」課題をきちんとこなすこと「だけ」が得意な人は向いていません。参考までに今年前期の場合は、1時間を卒論に向け各自が関心をもっている分野についての専門書を読んだ上で報告・討論を行い(3年前期はリーディング・アサイメントに従って進める)、もう1時間でビジネス・ケース討論を行っています。

夏休みにはゼミ合宿を行います。後期は両学年共に卒論に向けた報告が中心になります。そして、4年の終わりには卒論を書き上げます。

なお、夏合宿は国外で実施します(3年と4年の2回、違う国)。現地では関係機関、企業、援助団体など訪問・視察を行います。机上の勉強だけではなく、実際に経済・経営の現場を自分の肌で実感する貴重な機会です。今夏は9月にベトナムのホーチミンに行きます。現地での企業訪問は貴重な経験になります。手配等はすべて自分たちで行ってもらいます。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

3年終了時に10,000字程度の3年次論文を提出してもらいます。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

就職率100%を初代から継続中です。業界は様々。珍しい就職先としては、政令市中学校の社会科教員(経済学部では十年に1人レベルの現役合格)や、一般企業就職後に公認会計士の資格を取得して4大監査法人に転職したOBがいます。不況時にも安定・確実に就職を決めています。日々のゼミに対する姿勢が結果につながります。「勉強の仕方を学ぶ」ことを常に念頭に置いていて、これは就職後に役立ちます(残念ながらゼミで勉強した内容は仕事にはほとんど役立ちません)。

また、毎年秋にOB会があり色々な話を聞くことができるとともに(OB会だけでなく随時、顔を出してくれたりします)、タテのつながりも強めています。卒業後もOB会があり、現役ゼミ生のサポー

ト、また学年を超えて交流があり、「大人のゼミ合宿」をしたりしている代もあります。こういうところが嫌いならば、他のゼミに行くべきです。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

2006年に着任、担当する授業科目としては「世界経済入門」、「国際経済」、「国際経営」などです。

#### (7) その他

・日本でも星野リゾートのように喫煙者の採用をしない企業が増えてきています。こうした状況に鑑み、選考の際、喫煙者のプライオリティは最下位にします（なお、2010年にこの方針を打ち出して以降、これまで喫煙者でこのゼミに合格した人はいないことを申し添えます）。

・卒業までに「国際経済」、「国際経営」の単位は必ず取ってもらいます。両科目を取れない場合、ゼミをクビになります。また、卒業までの2年半を継続して取り組めることも条件とします。OB会でゼミOBが「ゼミ程度のことをきちんとやれない(継続できない)ような人が社会(会社)に出てきちんとやっていけない」とよく言っています。着任して10年以上たち、ようやく途中で辞める人が出なくなってきました。また、他ゼミで行うようなゼミ合宿ではない形の合宿が3年と4年夏の2回あります。その点も承知してください。

・個人テーマの設定は自由ですが、それに取り組むにあたっての基礎は重視しています。筋トレをしっかりとやります。つまらないかもしれませんが、スポーツ選手で筋トレを疎かにする人はいないですよ。基礎演習のようにグループワークで上辺だけの「勉強ごっこ」をして「勉強した気分になる」スタイルではないので、そういうやり方を好む場合は他のゼミに行ってください。しかし、しっかり

取り組むと自分自身が何倍も成長して卒業できることは間違いなく、それが不況時でも安定した就活の結果につながります。そして就職後も勉強の仕方を知っていることはものすごく役立ちます。

・提出書類について:1 次選考(第 1 希望)の人は K スマ・アンケート機能の「1 自己紹介、2 志望理由」を書く必要がありません。空白はエラーになるようなので、「あ」とだけ入力してください。K スマでの登録締切前(5/22)までにメールにてエントリーシート(エクセル形式、A4 で 1 ページ程)を請求し、それを記入して、成績表と合わせて 5 月 22 月までにメールで送ってください (詳細はエントリーシートに記載しています) 。2 次選考以降の人は K スマ・アンケート機能 1 と 2 両方記載のうえ、メールで事前にエントリーシートを請求し、記入した上で成績表と TOEIC 等のスコア表(2 月に全員受験した TOEIC を除く)、1 次応募のゼミに提出した課題の合わせて 4 つのファイルを K スマ登録締切時間までにメールで送ってください。このゼミでは英語文献を用いるため、他のゼミに未練がなく意欲が確実なこのゼミを第 1 志望とする人以外には能力の確認の意味でこのやり方を取らせてもられません。TOEIC や TOEFL、IELTS 等のスコアをもっていない場合は、何か客観的な指標を出してください。なお、エントリーシートの請求は時間に余裕をもって行ってください。

## 山本 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	地域と都市の経済
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3年男	7人	3年女	2人	4年男	8人	4年女	0人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

経済活動を「地域」という空間的枠組みの中で考える。

(2) キーワード

経済地理学, フィールドワーク, 地域

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

論文の輪読による基礎的な思考法や手法の習得と, 個人テーマに沿ったフィールドワークと報告書の作成を想定しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

2年次に論文踏査を始め、3年次には当該分野の研究動向についてレビュー報告（2000~4000字程度）を作成する。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

鉄道, 建材, アパレル, 保険会社, 不動産関係など。対面接触のほか, 輸送関係や地方を好む傾向があります。テレビ番組制作, ゲーム制作などのクリエイティブ系に就職したものもいます。

(6) 教員について(自己紹介等)

山本健太      検索

(7) その他

ゼミとは、単に勉強するところではなく、社会関係も学ぶ場であると考えています。このゼミに入るとすることは、私に弟子入りすることだと思ってください。

バイト、部活、サークルはゼミ欠席理由として認められません。ゼミでの活動を最優先事項として、他のゼミ生と協調し、積極的に参加してください。

## 『令和6年（2024年）度開講「演習Ⅱ」（ゼミ）募集要項』

國學院大學 経済学部教務委員会

**WEBでもCHECK!**

國學院大學経済学部

検索

